

全体の状況

○ 相談種類別受付件数の年次推移

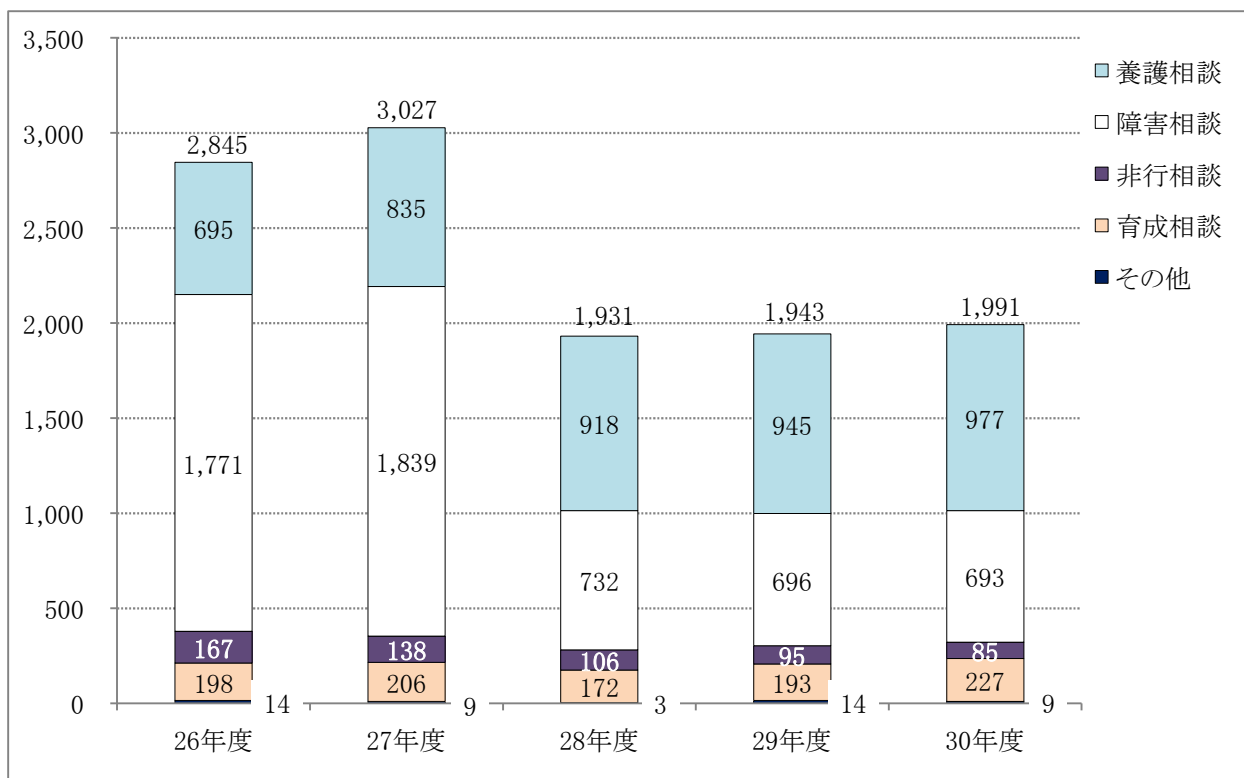
相談種別		H26	H27	H28	H29	H30	
高知県全体	養 護 相 談	695	835	918	945	977	
	うち虐待通告・相談件数	383	515	417	453	595	
	障害相談	肢 体 不 自 由	2	2	1	4	2
		視 聴 覚 障 害	0	0	0	0	0
		言 語 発 達 障 害 等	239	177	93	49	51
		重 症 心 身 障 害	38	31	28	33	30
		知 的 障 害	1,082	1,184	564	569	557
		発 達 障 害	410	445	46	41	53
	小 計	1,771	1,839	732	696	693	
	非行相談	ぐ 犯 行 為 等	82	53	52	42	46
		触 法 行 為 等	85	85	54	53	39
		小 計	167	138	106	95	85
	育成相談	性 格 行 動	166	185	156	165	206
		不 登 校	16	15	8	25	11
		適 性	12	2	5	0	7
		育 児 ・ し つ け	4	4	3	3	3
		小 計	198	206	172	193	227
	そ の 他	14	9	3	14	9	
	計	2,845	3,027	1,931	1,943	1,991	

※平成28年度から特別児童扶養手当に係る判定事務(依頼書の受付等)については障害相談として計上していない。

○ 相談種類別受付件数の年次推移(相談所別)

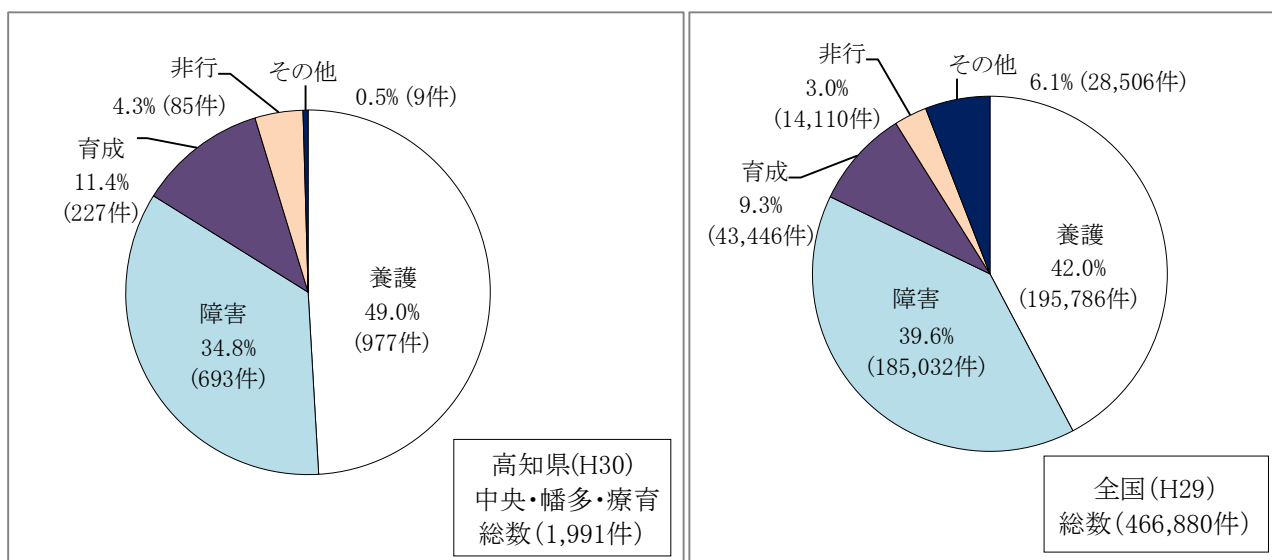
		相談種別	H26	H27	H28	H29	H30
中央児童相談所	養護相談		622	749	843	863	878
		うち虐待通告・相談件数	347	465	398	404	544
	障害相談	肢体不自由					
		視聴覚障害					
		言語発達障害等					
		重症心身障害					
		知的障害					1
		発達障害					
		小計	0	0	0	0	1
	非行相談	ぐ犯行為等	72	46	48	39	40
		触法行為等	80	81	53	52	37
		小計	152	127	101	91	77
	育成相談	性格行動	59	74	45	46	58
		不登校性	10	4	6	11	2
適児・しつけ		1	2	1			
小計		70	80	52	60	60	
	その他	2	1	1			
	計	846	957	997	1,014	1,016	
(中央児童相談所障害児部門)	養護相談				4	6	1
		うち虐待通告・相談件数					
	障害相談	肢体不自由	2	2	1	2	2
		視聴覚障害					
		言語発達障害等	211	137	74	36	37
		重症心身障害	36	30	26	32	28
		知的障害	894	1,020	489	503	485
		発達障害	328	369	19	15	10
		小計	1,471	1,558	609	588	562
	非行相談	ぐ犯行為等			1	1	1
		触法行為等					
		小計	0	0	1	1	1
	育成相談	性格行動	67	56	40	60	75
		不登校性				3	2
適児・しつけ		9	1	3		7	
小計		3	2	3		3	
	その他	79	59	46	63	87	
	計	1,550	1,617	660	658	651	
幡多児童相談所	養護相談	73	86	71	76	98	
		うち虐待通告・相談件数	36	50	19	49	51
	障害相談	肢体不自由				2	
		視聴覚障害					
		言語発達障害等	28	40	19	13	14
		重症心身障害	2	1	2	1	2
		知的障害	188	164	75	66	71
		発達障害	82	76	27	26	43
		小計	300	281	123	108	130
	非行相談	ぐ犯行為等	10	7	3	2	5
		触法行為等	5	4	1	1	2
		小計	15	11	4	3	7
	育成相談	性格行動	40	55	71	59	73
		不登校性	6	11	2	11	7
適児・しつけ		3	1	1			
小計		49	67	74	70	80	
	その他	12	8	2	14	9	
	計	449	453	274	271	324	

○相談種類別受付件数の年次推移



(注) 本県では、中央児童相談所管内の障害相談については、療育福祉センターが担当しているため、同センター取扱い分を加えて比較している。

○相談種類別構成比の全国との比較



* 出典：厚生労働省『福祉行政報告例』

高知県 (件数)

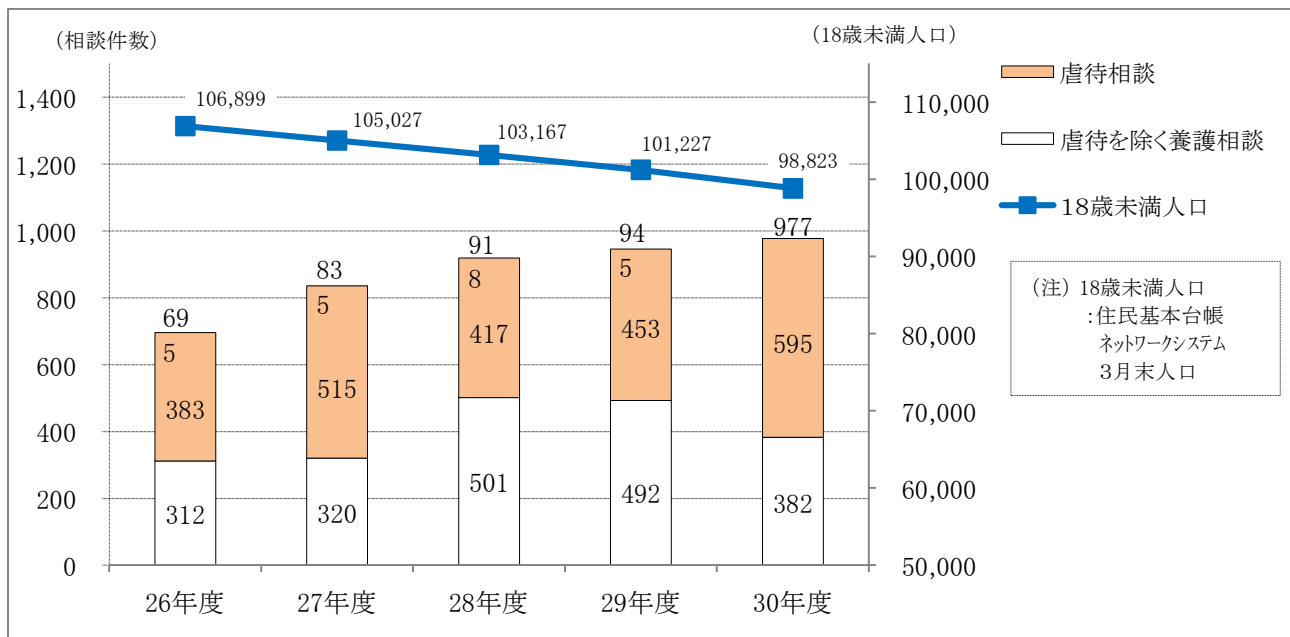
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
養護	695	835	918	945	977
障害	1,771	1,839	732	696	693
非行	167	138	106	95	85
育成	198	206	172	193	227
その他	14	9	3	14	9
計	2,845	3,027	1,931	1,943	1,991

全国 (件数)

	26年度	27年度	28年度	29年度
養護	145,370	162,119	184,314	195,786
障害	183,506	185,283	185,186	185,032
非行	16,740	15,737	14,398	14,110
育成	50,839	49,978	45,830	43,446
その他	23,673	26,083	27,744	28,506
計	420,128	439,200	457,472	466,880

養護相談(虐待相談を含む)と非行相談の状況等

1 子ども人口と養護相談受付件数の推移



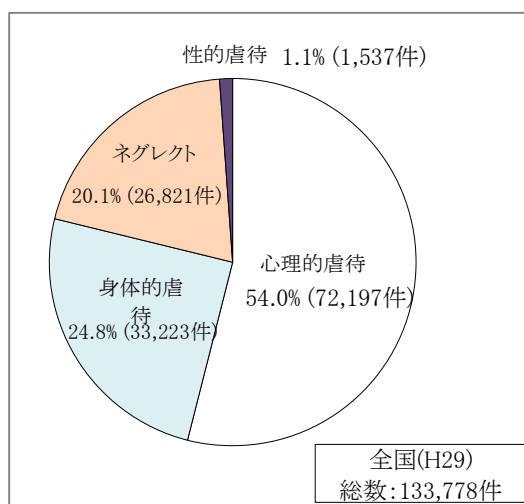
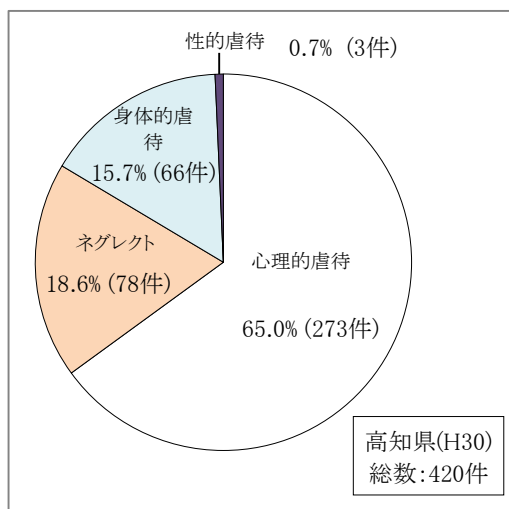
養護相談：養育困難（保護者の家出・失踪、死亡、離婚、入院、就労及び服役等）、迷子に関する相談、及び虐待相談（身体的虐待・心理的虐待・性的虐待・ネグレクトに関する相談）

2 児童虐待(平成30年度)

(1) 児童虐待相談対応件数 (※対応件数:相談受理後、調査し虐待と認定し対応した件数)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
受付件数	383	515	417	453	595
対応件数	235	379	291	326	420

(2) 虐待の種類の構成割合



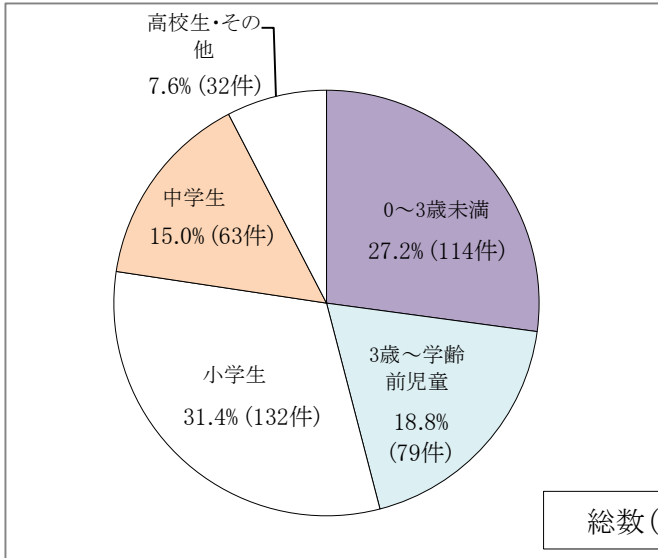
高知県 (件数)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
心理的虐待	105	176	113	184	273
ネグレクト	72	84	99	82	78
身体的虐待	55	114	72	55	66
性的虐待	3	5	7	5	3
計	235	379	291	326	420

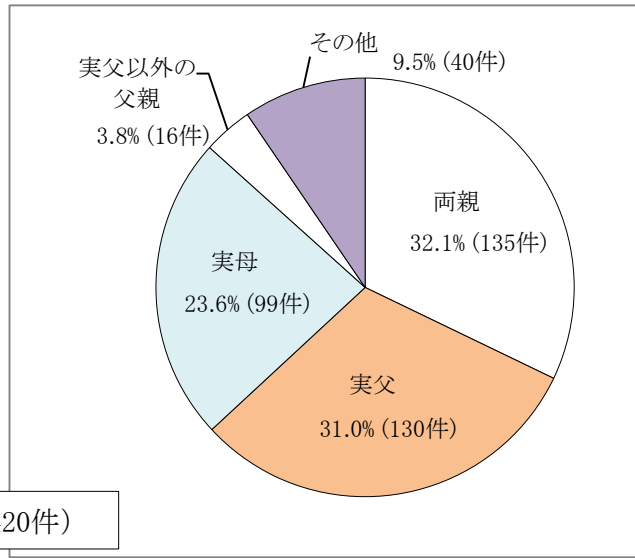
全国 (件数)

	26年度	27年度	28年度	29年度
心理的虐待	38,775	48,700	63,186	72,197
ネグレクト	22,455	24,444	25,842	26,821
身体的虐待	26,181	28,621	31,925	33,223
性的虐待	1,520	1,521	1,622	1,537
計	88,931	103,286	122,575	133,778

(3) 被虐待児の年齢別構成割合



(4) 主たる虐待者



(注)『その他』は実母と内縁男性15件、実母の内縁男性11件、実母と祖母5件、祖父2件、実母の交際相手2件、祖母1件、叔母1件、実父と祖父1件、実父と内縁女性1件、実母と交際相手1件

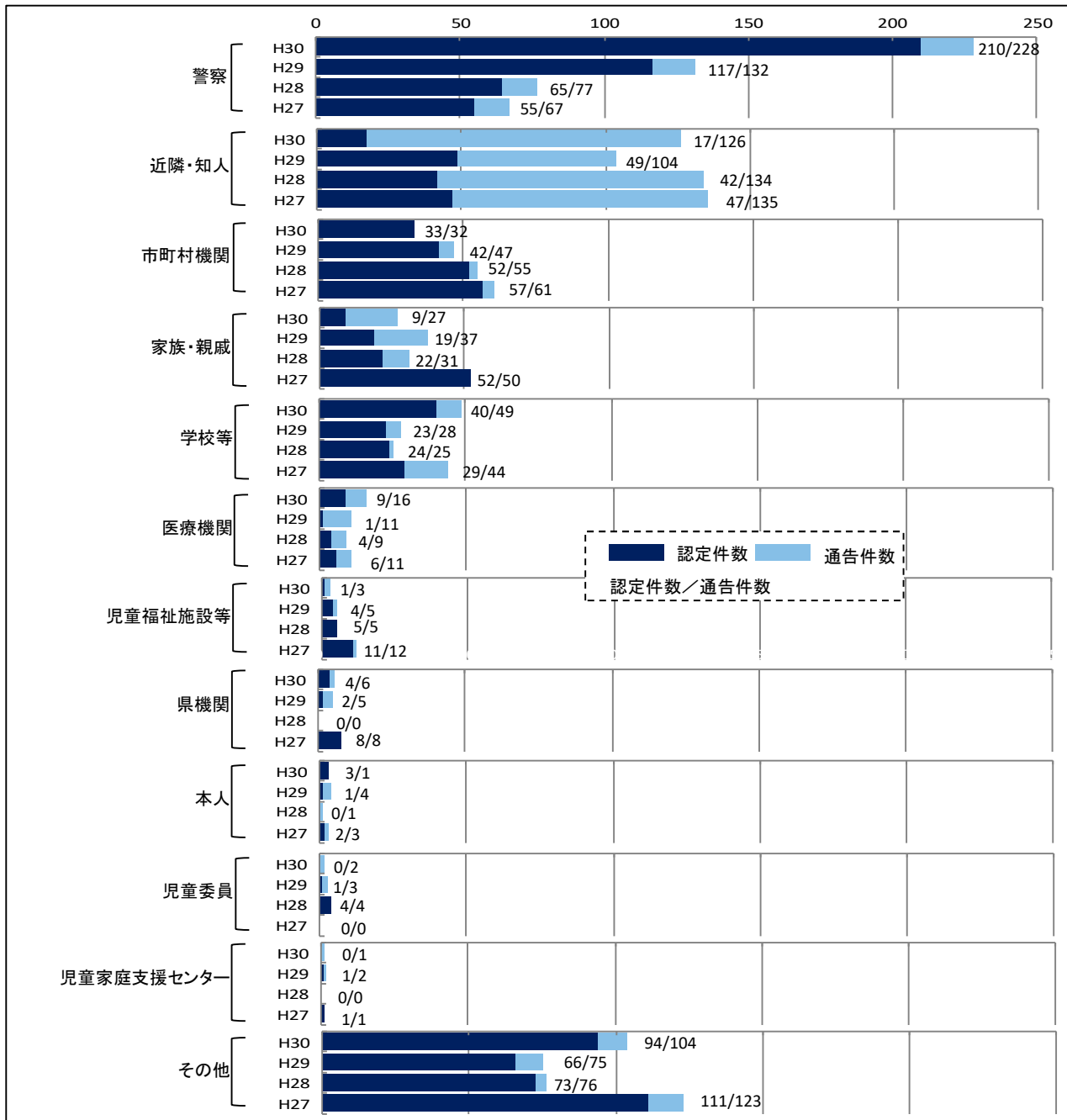
被虐待児の年齢別(件数)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
0~3歳未満	39	74	67	80	114
3歳~学齢前児童	39	94	59	71	79
小学生	88	137	107	113	132
中学生	44	49	38	38	63
高校生以上	25	25	20	24	32
計	235	379	291	326	420

主たる虐待者(件数)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
両親	29	71	99	122	135
実父	69	105	58	92	130
実母	108	149	108	88	99
実父以外の父親	17	23	6	6	16
実母以外の母親		3			
その他	12	28	20	18	40
計	235	379	291	326	420

(5) 虐待通告及び認定・対応ケースの経路別件数

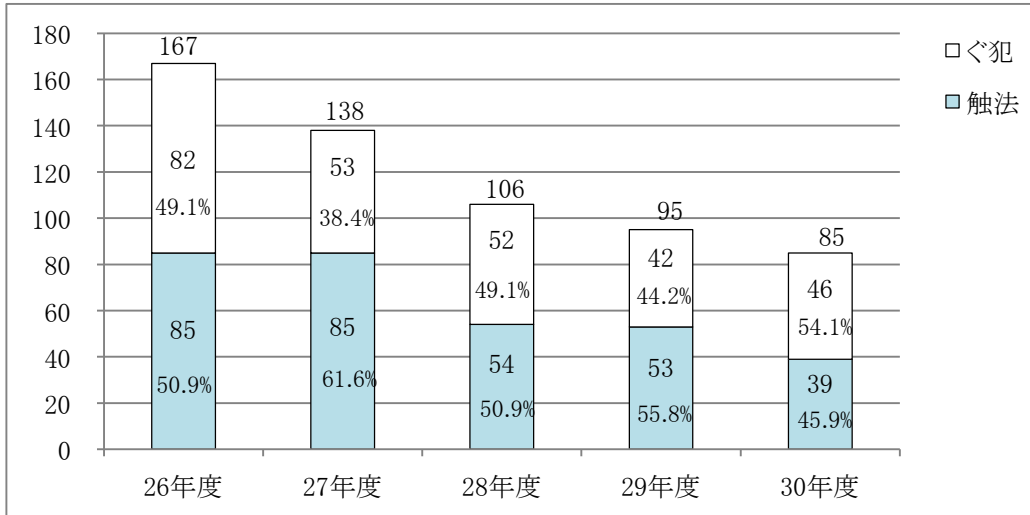


年度	認定	警察等	近隣・知人	市町村機関	家族・親戚	学校等	医療機関	児童福祉施設等	県機関	本人	児童委員	児童家庭支援センター	その他	計
		30年度	210	17	33	9	40	9	1	4	3	0	0	94
29年度	117	49	42	19	23	1	4	2	1	1	1	66	326	
	132	104	47	37	28	11	5	5	4	3	2	75	453	
28年度	65	42	52	22	24	4	5	0	4	4	73	291		
	77	134	55	31	25	9	5	1	4	76	417			
27年度	55	47	57	52	29	6	11	8	2	1	111	379		
	67	135	61	50	44	11	12	8	3	1	123	515		

(注) ※グラフ(2)～(5)は、児童虐待として児童相談所に通告のあった595件及び児童虐待として対応した420件について分析した
もの。また、虐待として認定されたもののうち、10件が前年度に一時保護中であったため次年度の件数として持ち越された。
※「その他」は他県児童相談所やきょうだいケースで虐待認定したものの。

3 非行相談

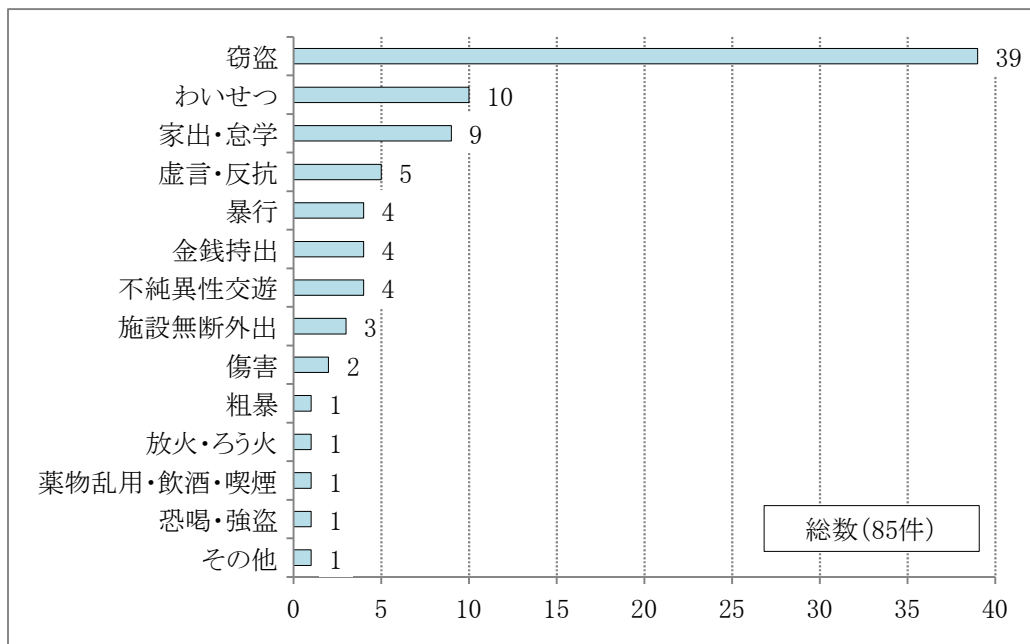
(1) ぐ犯・触法相談受付件数の年次別推移



(注) ぐ犯相談：虚言癖・家出・乱暴・飲酒・不純異性交遊等のぐ犯行為、問題行動のある子ども(ぐ犯少年)に関する相談。

触法相談：窃盗・傷害・放火等触法行為があったとして警察からの通告があった子ども(触法少年)や家裁から送致のあった子ども(犯罪少年)に関する相談。

(2) 非行相談の主訴別件数(平成30年度)



(注) 『その他』の内容：威力業務妨害

	27年度	28年度	29年度	30年度
窃盗	57	37	41	39
家出・怠学	29	20	16	9
金銭持出	5	9	10	4
わいせつ	9	8	8	10
暴行	7	13	5	4
不純異性交遊	4	3	4	4
粗暴	3	2	4	1
傷害	1	2	2	2
放火・ろう火	2	1	2	1
虚言・反抗		0	1	5
薬物乱用・飲酒・喫煙		1	0	1
施設無断外出	1	1	0	3
恐喝・強盗	1	0	0	1
その他	19	9	2	1
計	138	106	95	85

一時保護(委託)の状況

	H26年度			H27年度			H28年度			H29年度			H30年度		
	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計
虐待 注	68 (36)	42 (16)	110 (52)	83 (58)	79 (47)	162 (105)	113 (72)	119 (45)	232 (117)	99 (48)	61 (26)	160 (74)	87 (54)	63 (29)	150 (83)
その他	53 (8)	49 (0)	102 (8)	65 (16)	95 (8)	160 (24)	74 (21)	99 (5)	173 (26)	73 (13)	57 (2)	130 (15)	110 (26)	83 (10)	193 (36)
計	121 (44)	91 (16)	212 (60)	148 (74)	174 (55)	322 (129)	187 (93)	218 (50)	405 (143)	172 (61)	118 (28)	290 (89)	197 (80)	146 (39)	343 (119)

※年度内に一時保護を開始した件数

※()は、職権保護数で内数

注:平成28年の公表資料までは国の福祉行政報告例に準じ、当該年度中に虐待認定されたもののみ「虐待」として計上し、前年度までに虐待認定されていたものは「その他」に計上していたが、平成29年の公表から「その他」ではなく「虐待」に計上することとし、平成26年度分まで遡って集計の見直しを行った。
このため、平成26・27年度の数値は公表済みの数値と一致しない。